

災害に備えましょう！

とはいいつも…

災害に備えることが大事だけど、なかなか手が出ない。何を備えたらいいかわからない。防災備品を備えたけど使い方がわからない。どこに置いたか忘れてしまった。災害時に自分の周りでどんなことが起こるのか、イメージしにくい。

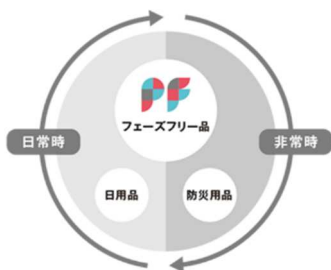


「防災って難しい！」と感じられている方もいると思います。

そこで「フェーズフリー」の考えのもと、災害に備えてみてはどうでしょうか？

備えない防災「フェーズフリー」

フェーズフリーとは日常時と非常時の境をなくして、普段から使っているものを、災害時にも役立てようという考え方です。



いつもの生活で便利
もしもの時には役に立つ
そんなモノやサービスを活用

「フェーズフリー」5つの原則

常活性: どのような状況でも利用可能
日常性: 普段の生活でも使える
直感性: 誰でも使い方がわかる
触発性: 使用することで災害に対するイメージができる
普及性: 誰でも気軽に参加し広めることができる

フェーズフリーはどんなものがある？

4つのカテゴリに分けていくつかご紹介します。

1. 防災や仕事、趣味で使うもので、フェーズの区別なく利用できるもの

防災用品やキャンプ、アウトドアなどで使うもので日常時・非常時にも使えるもの
例) テント、寝袋、発電機、LED ランタンなど

2. 利用方法の工夫でフェーズフリーの価値が発揮できるもの

日用品などをストックし、期限が近いものから消費して新しいものを補充することで管理できるもの

例) 非常食(カップ麺やレトルト食品など)、カイロ、乾電池など

3. 日常時・非常時ともにフェーズフリーの価値が発揮できるもの

普段使用しているもので非常時にも使えるもの

例) スマートフォン、モバイルバッテリーなど

4. 非常時に日常時とは異なる用途でフェーズフリーの価値が発揮できるもの

普段使用しているものを非常時に別の機能として使うもの

例) プラグインハイブリッド車、防災ベンチ、防災拠点施設など

何気なく利用しているものでも、自らの気づきによって非常時にも活用できるかもしれません。まずは日常時と非常時の意識の垣根を取り除いてみてはどうでしょうか？